



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9074 URL https://www.jot.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL) 03(5496)7671  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,845	1.5	92	△48.8	276	△13.9	203	2.3
2019年3月期第1四半期	7,731	8.7	180	292.2	321	128.3	198	122.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 282百万円 (△50.6%) 2019年3月期第1四半期 572百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	61.42	—
2019年3月期第1四半期	60.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	33,687	19,260	57.2
2019年3月期	33,279	19,110	57.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,260百万円 2019年3月期 19,110百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,200	4.2	200	△8.4	400	0.0	250	0.0	75.57
通期	35,200	2.8	1,200	18.9	1,500	14.0	1,000	20.2	302.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,322,935株	2019年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	14,711株	2019年3月期	14,696株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,308,232株	2019年3月期1Q	3,308,431株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続した一方で、海外経済の不確実性等が一層強まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、国内の石油製品需要が長期的に減少すると見込まれているほか、乗務員不足を背景とした人件費等の経費の増加もあり、依然として厳しい状況におかれています。

このような状況のもと、当社は、中期経営計画(2017年度～2019年度)の達成を目指して、輸送シェアの維持・拡大を通じた収益力の強化、LNG(液化天然ガス)輸送、水素輸送、化成品における海外輸送等の成長分野の推進等に取り組みました。

また、こうした取り組みと並行し、安定輸送の継続に向け、雇用環境の改善等による乗務員の確保や車両の拡充にも注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,845百万円(前年同期比1.5%増)となりましたが、人件費等の経費の増加により、営業利益は92百万円(同48.8%減)、経常利益は276百万円(同13.9%減)となりました。また、社有不動産の売却により、親会社株主に帰属する四半期純利益は203百万円(同2.3%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## (石油輸送事業)

石油輸送事業につきましては、輸送シェアの維持・拡大に努め、売上高は増加いたしました。人件費および車両投資に伴う経費の増加により、営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,624百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は46百万円(同68.2%減)となりました。

## (高圧ガス輸送事業)

高圧ガス輸送事業につきましては、LNG輸送において、出荷地変更等による影響から減収となりましたが、LPG(液化石油ガス)輸送が増収となり、売上高は2,024百万円(前年同期比0.3%減)となりました。また、利益面においては人件費等の経費の増加により、15百万円の営業損失(前年同期は18百万円の営業利益)となりました。

## (化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送事業につきましては、国内輸送の伸長に加え、海外輸送において料金見直しへの取り組みが進捗し、売上高および営業利益は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、使用料改定による増収がありましたが、大型連休の影響等による発送個数の減少により、売上高および営業利益は前年並みとなりました。

この結果、当事業における売上高は2,139百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は38百万円(前年同期は10百万円の営業損失)となりました。

## (その他事業)

太陽光発電事業につきましては、売上高は57百万円(前年同期比3.4%増)となりましたが、大規模な定期点検を実施したため、営業利益は23百万円(同13.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は33,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円増加いたしました。

流動資産は6,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に季節変動による受取手形及び売掛金の減少と、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は27,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具の増加および投資有価証券が時価変動により増加したことによるものであります。

負債は14,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加いたしました。これは季節変動による支払手形及び買掛金は減少したものの、流動負債その他に含まれる設備投資に係わる未払金が増加したことによるものであります。純資産は19,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い、およびその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2%減少し、57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)および通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日の決算発表にて公表いたしました業績予想値より変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,046	2,468
受取手形及び売掛金	3,672	2,979
その他	652	1,032
流動資産合計	6,371	6,480
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,034	4,397
コンテナ(純額)	3,232	3,055
土地	5,513	5,504
リース資産(純額)	6,213	6,135
その他(純額)	2,161	2,108
有形固定資産合計	21,155	21,202
無形固定資産		
その他	98	198
無形固定資産合計	98	198
投資その他の資産		
投資有価証券	4,437	4,581
その他	1,216	1,224
投資その他の資産合計	5,653	5,806
固定資産合計	26,908	27,207
資産合計	33,279	33,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,021	1,506
短期借入金	538	457
未払法人税等	216	127
賞与引当金	696	847
役員賞与引当金	100	45
その他	3,334	4,223
流動負債合計	6,908	7,208
固定負債		
リース債務	4,559	4,483
修繕引当金	286	296
退職給付に係る負債	1,583	1,600
その他	830	837
固定負債合計	7,260	7,219
負債合計	14,169	14,427
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	16,412	16,483
自己株式	△35	△35
株主資本合計	18,328	18,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908	982
繰延ヘッジ損益	△0	△5
退職給付に係る調整累計額	△127	△116
その他の包括利益累計額合計	781	860
純資産合計	19,110	19,260
負債純資産合計	33,279	33,687

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,731	7,845
売上原価	7,065	7,218
売上総利益	665	627
販売費及び一般管理費	485	535
営業利益	180	92
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	59	128
固定資産賃貸料	67	64
固定資産売却益	15	10
持分法による投資利益	25	22
雑収入	25	16
営業外収益合計	192	242
営業外費用		
支払利息	17	18
固定資産賃貸費用	22	21
固定資産除売却損	4	7
雑損失	7	11
営業外費用合計	51	58
経常利益	321	276
特別利益		
固定資産売却益	—	71
特別利益合計	—	71
特別損失		
固定資産除売却損	—	18
その他の投資評価損	4	—
減損損失	1	—
特別損失合計	6	18
税金等調整前四半期純利益	315	329
法人税等	116	126
四半期純利益	198	203
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	198	203

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	198	203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	356	76
繰延ヘッジ損益	5	△4
退職給付に係る調整額	5	10
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△2
その他の包括利益合計	373	79
四半期包括利益	572	282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	572	282
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,571	2,029	2,074	55	7,731	—	7,731
セグメント間の内部売 上高又は振替高	118	1	17	—	137	△137	—
計	3,690	2,030	2,091	55	7,868	△137	7,731
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	145	18	△10	27	180	—	180

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、1百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高圧ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,624	2,024	2,139	57	7,845	—	7,845
セグメント間の内部売 上高又は振替高	114	1	17	—	132	△132	—
計	3,738	2,025	2,157	57	7,978	△132	7,845
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	46	△15	38	23	92	—	92

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。